



令和7年2月14日  
宮坂建設工業株式会社  
株式会社カナモト

## 新技術『クラウド安全点検表 Digital Safe Check (DSC)』

### 提供開始のお知らせ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、宮坂建設工業株式会社と株式会社カナモトは、かねてより開発を進めていた『クラウド安全点検表 Digital Safe Check』(DSC)「NETIS 登録番号 KT-240135-A」の提供開始についてお知らせ致します。この製品は従来の安全点検における数多くの課題を解決し、建設現場における安全性と生産性を飛躍的に向上させることが見込まれるツールとなります。

#### 記

製品名：クラウド安全点検表 Digital Safe Check (DSC)

NETIS 登録年月日：2024年11月1日『登録番号 KT-240135-A』

レンタル開始時期：2025年7月予定

※詳細は別紙をご参照願います。

#### 【問合せ先】

宮坂建設工業株式会社 TEL 0155-23-9151

担当 稲船 晃

宮坂建設工業株式会社ホームページ <https://www.miyasaka-cc.co.jp/>

株式会社カナモト TEL0155-61-2332

担当 畑中 淳

株式会社カナモトホームページ <https://www.kanamoto.co.jp/>



技術と信頼で明るい未来を創造する

宮坂建設工業株式会社 **kanamoto**

2025年2月14日

宮坂建設工業株式会社

株式会社カナモト

新技術『クラウド安全点検表 デジタル セーフ チェック Digital Safe Check(DSC)』の提供開始について

クラウド安全点検表

**DIGITAL SAFE CHECK**

宮坂建設工業株式会社と株式会社カナモトは、革新的なクラウドベースの安全点検表システム『クラウド安全点検表 デジタル セーフ チェック Digital Safe Check』(以下DSC)「NETIS 登録番号 KT-240135-A」の提供を開始することを発表いたします。このシステムは、建設現場における安全点検業務のデジタル化と効率化を包括的にサポートするものであり、最先端の技術を用いた精緻なデータ管理とリスク低減を可能にします。

『DSC』は、従来の安全点検における数多くの課題を解決し、建設現場における安全性と生産性を飛躍的に向上させることを目的としています。このシステムにより、紙ベースの記録に伴う人的エラーのリスクが低減され、データの正確性と信頼性が大幅に向上します。さらに、全ての点検データがクラウドに保存されることで、過去の点検記録への容易なアクセスや分析が可能となり、将来的な改善にも貢献できます。

製 品 名：デジタル セーフ チェッククラウド安全点検表 Digital Safe Check (DSC)

NETIS 登録年月日：2024年11月1日『登録番号 KT-240135-A』

レンタル開始時期：2025年7月予定

### 開発背景と導入目的

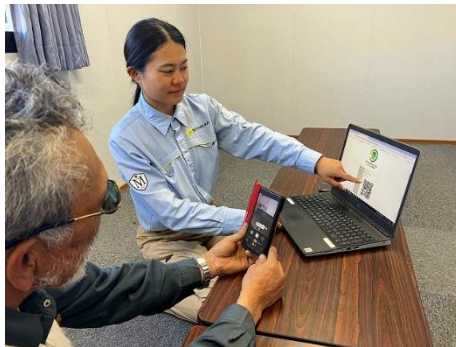
建設業界における労働力不足や作業環境の改善は喫緊の課題であり、特に安全点検の効率化と標準化は重要なテーマです。従来の紙ベースで実施されていた安全点検作業には、煩雑な記録作業や人的エラーによる信頼性の低下といった問題がありました。

『DSC』は、これらの課題に対処するために設計され、安全性の向上と業務の効率化を目指した革新的なソリューションです。

## 『DSC』の主要特徴

### 1. クラウドベースの点検管理システム

DSCはクラウド技術を活用し、安全点検に必要なデータの一元的な集約と管理を実現します。現場作業者はスマートフォンやタブレットを使用し、QRコードのスキャンによって容易に点検情報を入力・共有できます。このデジタル化により、データの一貫性と精度が確保されます。また、点検データは安全に保存され、過去の記録に基づく分析や将来的な予測に役立てることができます。



事務所での使用説明



QRコード表示画面

### 2. リアルタイムの情報共有および異常報告

点検結果はリアルタイムでクラウド上に反映され、異常が検出された場合には関係者へ迅速に共有される仕組みを構築しています。この迅速な情報共有により、現場でのリスク管理能力が向上し、事故の予防に大きく寄与します。



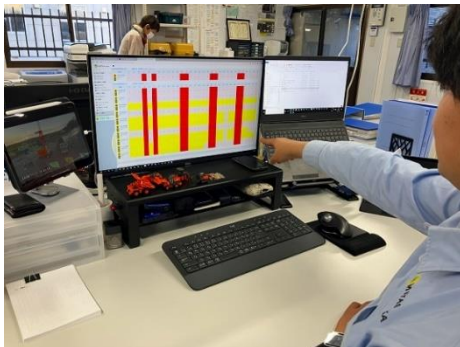
クラウド上の報告確認



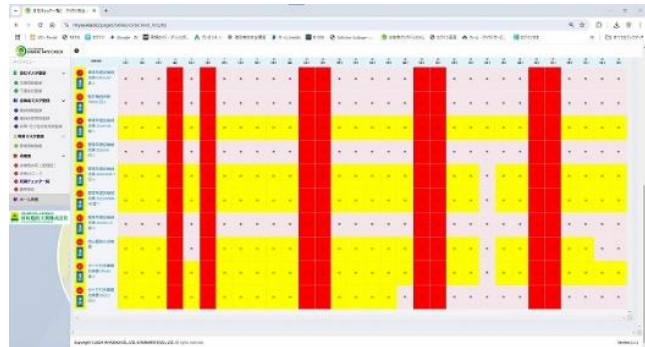
現場報告レポート画面構成

### 3. 月別・業者別の点検状況の可視化

点検結果は月別および業者別に体系的に整理されており、管理者は進捗状況や点検漏れを一目で把握することが可能です。この可視化によって、点検作業の確実性が向上し、業務の透明化と追跡性が強化されます。また、点検状況のデータはダッシュボード上でグラフィカルに表示されるため、直感的に理解しやすく、現場の安全管理における意思決定を迅速かつ的確に行うことができます。



事務所での点検実施確認



月別点検一覧表画面構成

### DSC の利用経過

#### 実際の利用を進めて

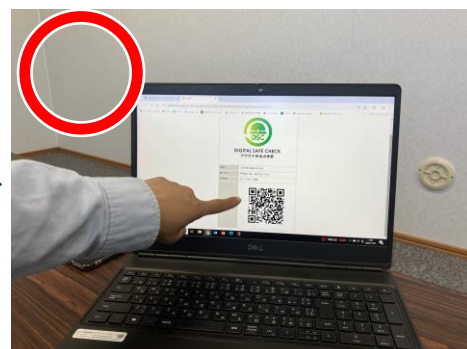
今までは、紙で行っていた点検業務をスマートフォンまたはタブレットに変えることで、事前準備の印刷が不要、資源として紙を削減、回収後のファイリングが不要、点検者の手荷物減少による点検の簡便化、新規入場者教育時に各担当会社が携わる点検表を登録することで職員の作業時間削減、と数多くのメリットがあると考えられます。

また、データをクラウド上でリアルタイムに共有することで、異常報告など写真を添付した報告書も瞬時に事務所にいる職員が確認することが出来るほか、点検データは蓄積され月ごとに点検結果をまとめて表示することで、点検漏れなども一目で発見することが可能となり業務効率化を推進する一助になっています。

#### 利用後の変化



事前に必要な点検簿を印刷する必要がある。



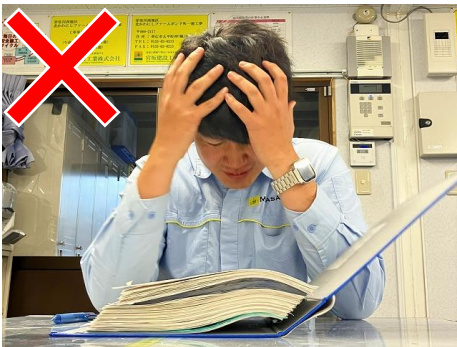
QRコードの表示だけで済むため事前準備が容易。



点検用紙、バインダー、ペンなどをもち点検を行う。悪天候の際は非常に不便。



スマートフォンまたはタブレットのみで点検が可能。入力すると事務所で即確認が可能。



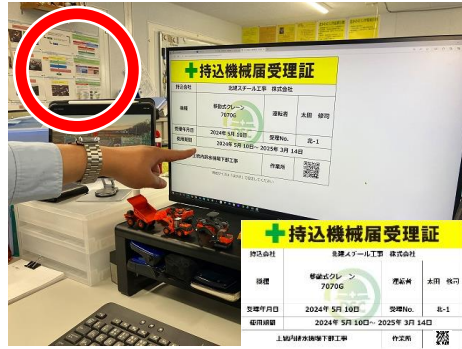
各点検を集積するためにファイリングが必要。点検内容の確認など時間を要する。



データで保存して居るため場所を取らない。クラウド上で一覧管理しているため確認が容易。



新たに持ち込まれた機械は、持込機械届受理証を手書きで記入し、該当機械に掲示。



アプリ上で受理証が作成可能。印刷し該当機械に掲示。

## 今後の展望

『DSC』は、建設現場のみならず、他の関連産業にも応用可能な技術であり、安全性の向上と作業環境の改善を目指してさらなる技術開発を進めてまいります。将来的には、これらの技術が労働力不足の緩和や業務効率化に貢献し、建設業界全体の競争力を強化することを期待しています。さらに、今後は人工知能（AI）技術を導入し、蓄積された点検データを活用して点検項目の生成プロセスを自動化・最適化することを視野に入れています。このアプローチにより、安全管理の精度と一貫性が飛躍的に向上し、より高度で効率的な現場運営を実現することが可能になります。

このように、私たちは技術の革新を通じて、建設業界全体の持続的な発展と労働環境の改善を目指し、業界の次世代の標準を確立することに取り組んでまいります。これにより、建設業の更なる発展と社会的責任を果たし、より安全で効率的なインフラ整備に貢献していく所存です。